

気持ち良く叩けて振り切れる

USTマミヤの

曲がらない『赤』が

ゴルフを変える

USTマミヤは、最新モデルとして2つの赤シャフトをリリースしている。いずれも鋭いしなり戻りによるつかまりの良さがあつて、左右の曲がりを抑える特性を備えている。カリスマフィッターの吉川仁は、ゴルフを大きく変える可能性を秘めた今までにないタイプのシャフトになっていると分析する。

ATTAS RX SUNRISE RED

幅広いターゲットに向けた「ATTAS(アッタス)」シリーズの最新モデル。部分ごとに剛性差を付けることで極限のつかまりと方向安定性の高さを両立している。価格は44,000円(税込)

最新機器で 2つの赤シャフトを 徹底チェック



今回は「トラックマン」を使った弾道計測に加えて、「GEARS」を使ったシャフト挙動の解析を実施。スイング中の各ポジションにおけるフェース向きやシャフトのしなり、ネジレを細かく計測して、2つの「赤シャフト」の真の性能を分析した

赤シャフトって どんなモノ?

一般的に赤いコスメのシャフトは先端が走る特性のモデルが多く、つかまりの良さやスピードアップ効果で飛距離を伸ばしやすくなっている。一方で、しなり挙動が大きい分、方向性に難のあるイメージもあるが、USTマミヤの最新「赤シャフト」はそれとは一線を画す曲がらないモデルに仕上がっている

飛距離に悩む
ゴルファーには
赤シャフトが
おすすめです



最新ギアを知り尽くす
カリスマフィッター

吉川 仁

よしかわ・じん / [4plus Fitting Labo & Golf Salon] を主宰するカリスマフィッターで最新ギアやヘッドとシャフトのマッチングに精通。「GEARS」や「トラックマン」、「GCクワッド」など、最新機器を駆使した精密なフィッティングでゴルファーのスコアアップをサポートしている

LIN-Q RED EX

強弾道の飛びと高い方向性を両立する「LIN-Q(リンク)」シリーズの最新モデル。中調子でクセのない振り心地とぶ厚いインパクトで叩ける特性を持つ。価格は55,000円(税込)

2つの“赤シャフト”は 弾道の高さとつかまりに違いがある

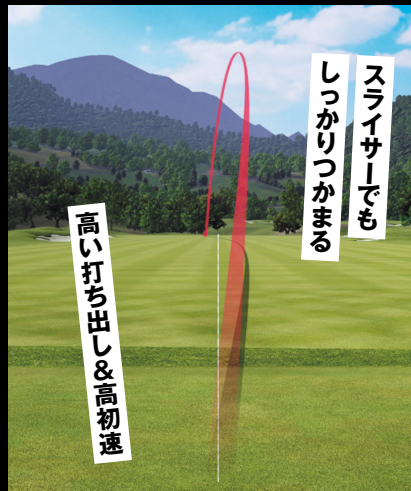
つかまりの良さと方向性の高さを備えた2つの“赤シャフト”だが、打ちやすい弾道特性はそれぞれ異なる。やや低めで直進性の高い弾道が打ちたければ『LIN-Q RED EX』、高い打ち出しでしっかりドロー回転のかかったボールで飛ばすなら『ATTAS RX SUNRISE RED』が合う



同じ9.0度の
ヘッドを使い
「トラックマン」で
計測しました

ATTAS RX SUNRISE REDの弾道

HS
47.5m/s
ボール初速
70.1m/s
打ち出し角
14.9度
スピン量
2,245rpm
飛距離
289.7ヤード



鋭いしなり戻りで同じ感覚で振ってもヘッドスピードが上がる。スピンも少なく抑えやすく、打ち出しも高いので芯を喰うと圧倒的なビッグキャリアが出せる

LIN-Q RED EXの弾道



インパクト効率が抜群に良く、初速がしっかり出る。また、スピンが少なくなり過ぎず適正な数値に収まるので安定して飛距離を出すことができる

HS
46.6m/s
ボール初速
69.2m/s
打ち出し角
10.1度
スピン量
2,342rpm
飛距離
283.3ヤード

インパクトの感覚に
違いがある

「LIN-Q RED EX」と『ATTAS RX SUNRISE RED』という2つの“赤シャフト”が持つ鋭いしなり戻りによるつかまりの良さは、現代の大型ヘッドで安定して飛ばすために最適な特性です。先端剛性の高さもあり、左右の曲がりも抑えられますので、飛距離と方向性を両立したティショットが打ちやすくなるシャフトだと言えます。

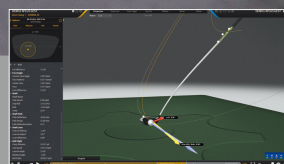
その上で、2つのモデルの大きな違いはインパクト時のフィードバックです。インパクト前後でフェースがスクエアに動く時間が長く、ボールを押し込むように打てるのが『LIN-Q RED EX』。一方で、『ATTAS RX SUNRISE RED』はしなり挙動が大きく、フェースを開閉しながら鋭く振り抜いていきます。自分の振り感に合ったモデルで、フレックスをしっかりと合わせれば、ドライバーのシャフトが大きく変わるはずですよ。ぜひ試打をして、今までにないタイプの“赤シャフト”を体感していただきたいです。

ATTAS RX SUNRISE RED



つかまりとスピードアップでキャリアが稼げる

「切り返しから鋭いしなり戻りでヘッドが付いてきてくれて、やさしくボールがつかまります。フォローでもヘッドが加速してくれて、フィニッシュまで一気に振り抜けることが特徴的です。ヘッドスピードを高める効果が大きく、スピンも増え過ぎないので、今より飛距離を伸ばしたい人にピッタリのシャフトですよ」(吉川)



GEARS解析

程良いタテのしなりで つかまる打点に当たりやすい

「ヨコのしなりでフェースターンさせつつ、程良いタテのしなりでトゥ寄り打点で打ちやすくなっています。タイミングの取りやすさがありながらも、しっかりボールをつかまえられる、今までの先調子系シャフトにはなかった動きをしています」(吉川)

鋭い振り抜きで
サイドスピンも
少なくなります

ずっとこんなシャフトが欲しかった

『LIN-Q RED EX』は 左右を恐れず叩ける！

今まで叩けるシャフトと言えば、元調子でつかまりを抑えたモデルがほとんどだった。そんな中で『LIN-Q RED EX』は鋭いしなり戻りでフェースをスクエアに戻しながら、ボールを押し込むように叩ける今までにない特性を持ったシャフトに仕上がっていた。

LIN-Q RED EX

クセのない挙動でスクエアに
当てやすくミスでも
飛距離が落ちない

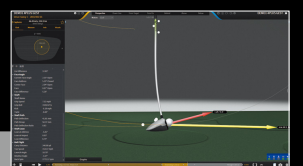
「手元に適度な硬さがあり、切り返すとヘッドがしっかり追従してきてくれます。適度なつかまりがありながらも、インパクトではボールを押し込むように動いてくれて、ストレートに近い弾道が打ちやすくなっています。直進性の高さで芯を外してもフェース向きがブレずに、安定したキャリアが出せますので、打点がブレて飛距離をロスしている人が安定して飛ばせるようになります」(吉川)



フェースが
スクエアに
戻しやすい



インパクトの
押しが強く芯を
外しても
フェース向きが
変わりません



GEARS解析

シャフトのネジレが少なく フェースがスクエアに動く時間が長い

「スイング中、シャフトのヨコのしなりがしっかりあってボールがつかまりますが、タテのしなりとネジレを抑えているので方向が安定します。打点に関係なくフェースがスクエアに動く時間が長いので、ボールが左右にネジれず真っすぐ飛んでくれます」(吉川)

タイミングの
取りやすさと
ヘッドがしっかり戻る
特性は
両モデルに
共通しています

2つの“赤シャフト”はフレックス選びがキモ



HS42m/sなら
このスペックが
おすすめ

「適度なしなり感のある『LIN-Q RED EX』は“5R”でしなやかさを出すとHS42m/s以下の人でも性能を体感しやすくなります。一方、『ATTAS RX SUNRISE RED』は動きが大きめなのでHS42m/s以上の人は“6X”を使うと叩きやすくなります」(吉川)